

令和3年度事業報告書

〔 令和 3年 4月 1日から
令和 4年 3月 31日まで 〕

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの当財団の令和3年度事業概況について、以下のとおりご報告申し上げます。

事業概況

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業及び交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

令和3年度は前年度同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地下鉄博物館事業、交通文化事業及び交通マナー事業の全てにおいて、例年どおりの事業を実施することができなかったものの、感染拡大の回避に努めながら、以下のとおり各事業を実施いたしました。

I 事業

1 博物館事業

前年度より引き続き数々の感染拡大防止対策を講じたうえで営業を開始しましたが、東京都から3回目の緊急事態宣言が発令された4月25日より、同宣言が解除となった5月31日までの約1か月間、休館としました。

その後6月より営業を再開しましたが、当該休館に加え4回目の緊急事態宣言の発令（7月12日から9月30日まで）等による感染回避を意識した外出自粛の動きが大きく影響し、結果3年度の入館者数については81千人（同感染症発生前の対平成30年度比55.6%減）となりました。

● 令和2年6月より実施した具体的な感染拡大防止対策（※印は後に解除したもの）

- ・ 入館時の検温（9月よりエントランス天井部にサーマルカメラ設置）、アルコール消毒（9月より自動噴霧消毒液容器を入口に2個設置）、館内各所へのアルコール消毒液容器設置

- ・ 一部施設へのフロアシート、ガラス面シート貼付による“密”防止の掲示（エントランス、売店、電車運転シミュレーター、メトロパノラマ）
- ・ 受付、売店及び休憩コーナーのテーブルへの飛沫防止用シート設置
- ・ 売店のパーテーションでの導線確保及び商品販売の縮小
- ・ 入館制限（同時館内滞留者数250人を超えた場合、入館待ち）
- ・ 館内滞在時間制限（1時間30分以内）、再入館禁止
- ・ 館内での飲食制限（食事禁止、水分補給は休憩コーナーでのみ利用可）
- ・ 一部施設の稼働・取扱い中止（土日祝日のメトロパノラマ演出運転、コインロッカー（※）、ベビーカー及び車椅子の預り・貸し出し（※）、「探検スタンプノート」の販売（※）、トイレ設置のジェットタオル、東京高速鉄道129号車及び銀座線01系車両への立入（※）、ミニジオラマ、図書室、顔出しパネル（※））
- ・ 一部施設の稼働・取扱い制限（丸ノ内線301号車内のつり革・座席（※）、授乳室、簡易型電車運転シミュレーター（※）、休憩コーナー及びホールの座席）
- ・ 団体予約中止

● 令和3年6月より実施した具体的な感染拡大防止対策

- ・ 休憩コーナーへの飛沫防止用シート設置
- ・ メトロパノラマへの二酸化炭素濃度測定器設置
- ・ 電車運転シミュレーター横への大型扇風機設置

● 令和4年2月より実施した具体的な感染拡大防止対策

- ・ 土日祝日の電車運転シミュレーター稼働中止
- ・ 土日祝日の東京高速鉄道129号車及び銀座線01系車両への立入中止

● その他の感染拡大防止対策

- ・ 館内の抗菌処理（令和3年12月）
- ・ 事務室等職員使用箇所の抗菌処理（令和4年3月）

(1) 特別展の開催

感染拡大防止の観点から前年度同様、図書室前の企画展示コーナーにおいて、次のとおり実施しました。

ア「日比谷線開通60周年展～相互直通運転の礎～」

(令和3年6月8日から9月5日まで)

日比谷線は1961(昭和36)年3月に最初の開通区間である南千住～仲御徒町駅間が開通し、その後、第18回オリンピック東京大会に間に合わせるため、急ピッチで建設工事が進められ、1964(昭和39)年8月に全線が開通しました。

本特別展では、全線開通と同時に営団地下鉄(現:東京メトロ)として初めて行った相互直通運転にスポットをあて、展示パネルや写真等によりその歴史について紹介しました。

また、開催期間中金曜日限定で、当館に保管している日比谷線建設関係の映画上映会を実施し、平日の入館者増を図ったとともに、「ちかどく」特典として特別展仕様のクリアファイルを製作したことで、当時を懐かしむお客様も数多くご来場されました。

イ「早川徳次生誕140周年記念展～地下鉄の父の軌跡～」

(令和3年12月7日から令和4年3月13日まで)

東京の地下鉄は人々の生活に欠かせない公共交通機関として発展・拡大を続け、今や都心を網の目のように輻輳するネットワークを形成するまでに至りました。

この東京の地下鉄の発展は早川徳次というひとりの青年の信念から始まりました。33歳で渡欧した際、ロンドンの地下鉄が市民の足となっている様子を見て、東京における地下鉄建設の必要性を確信した氏は帰国後、建設に向けて奔走し、幾多もの苦難を乗り越えた末、昭和2年、日本で初の地下鉄を上野～浅草駅間に開通させることに成功しました。

本特別展では、「地下鉄の父」と呼ばれるこの早川徳次の生誕140周年を記念し、氏の功績や人物関係に焦点をあて、貴重な資料と共に展示パネルや写真等により、紹介しました。

また、展示資料の中には初公開の「遺言状」も含まれており、ご来場された多くのお客様に好評をいただきました。

(2) イベントの実施

春休み、冬休み等の各期間を捉え、感染防止対策を講じたうえで各種イベントを実施しました。特に冬休みイベントではホールにおいて、当館のオリジナルキャラクターに東急線のキャラクターを加えた3体の着ぐるみによる写真撮影会を行い、多くのお客様に楽しんでいただきました。

(3) 教育実習活動の実施

9月9日より1週間、2名の大学生を対象に、学芸員資格取得のための博物館実習を当館では初のリモート形式で実施しました。

(4) 地下鉄関連資料の収集、保管及び貸し出し

地下鉄に関する各種資料、写真等を継続的に収集、整理、保存するとともに、データベース化した貴重な資料を「メトロアーカイブアルバム」サイトで公開しました。その結果、テレビ局、新聞社、雑誌社等メディアの取材対応にも活用でき、資料を貸し出したことによって地下鉄博物館の活動内容の一端を周知することができました。

(5) その他の取り組み

ア コロナ禍における新たな試み

10月より当館のホームページ上において、館内の一部（銀座線1001号車車内等）をVR映像にて公開しました。

イ 同業他館との連携

従来より「東武博物館」及び「電車とバスの博物館（東急）」と当館とで定期的に管理者の会合を行っていますが、4月に同3館で、また11月には新たに「ロマンスカーミュージアム（小田急）」及び「京王れーるランド」を加えた5館が集まり、感染拡大防止対策の実施状況を中心とした情報交換を行いました。

また2月には同5館の担当者が集まり、今後の合同の取り組み等について意見交換をしました。

前年度に引き続き、3年度も年間を通してのPR活動やお客様の誘致活動については控えざるを得ませんでした。当館のホームページ、ツイッター、駅構内のポスター等、限られた媒体を使用して、開館状況の告知等を行いました。

2 交通文化事業

感染拡大防止の観点から、集客を伴ういくつかの事業は実施できませんでしたが、代替施策を含め以下の事業を実施しました。

(1) メトロコンサートの開催

例年、地下鉄博物館ホール及び駅のコンコースにおいて各4回開催している同コンサートの代替施策として、前年度同様、無観客状況下での演奏を8月に小ホールにて収録し、9月10日より当財団のホームページ上にて、次のとおりオンライン限定配信しました。

タイトル：“home theater” ～心彩るアンサンブル～

出演：JPCO（Japan Popular Classics Orchestra）

演奏曲：クラシック、劇伴音楽、トレンド曲、オリジナル曲 計7曲

(2) メトロポリス・クラシックスコンサートの開催

気軽にクラシック音楽に触れていただくため、駅構内及び車両内のポスターやホームページで開催告知をし、鑑賞希望者を募集しました。結果、13,704人が応募され、この中から厳選のうえ約1,000人を招待し、次のとおり開催しました。

・第16回メトロポリス・クラシックスコンサート

（募集期間：令和3年8月3日から9月10日まで）

開催日：令和3年10月24日

場所：東京芸術劇場

テーマ：「ロシア&北欧、心に響く叙情の旋律 ～広大な大地から～」

出演：東京都交響楽団ほか

来場者：1,003人

(3) 音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）の開催

例年、都内及び近郊の高齢者福祉施設、病院、学校等において計10回程度開催している同コンサートの代替施策として、高齢者福祉施設従業者を対象とした支援音楽会を12月と3月に1回ずつ、また事業計画では予定していませんでしたが、先方より強い要望があったことから、学校関係者を対象とした支援音楽会を12月に2回、次のとおり開催しました。

【高齢者福祉施設従業者支援音楽会】

開催日：令和3年12月18日
場所：社会医療法人 蛍水会 介護老人保健施設 回生の里
演奏：歌謡曲、クリスマスソング、映画音楽、クラシック、独奏
出演：ララ・カンツォーネ

開催日：令和4年3月16日
場所：社会福祉法人 聖風会 台東区立特別養護老人ホーム 台東
演奏：歌謡曲、クリスマスソング、映画音楽、クラシック、独奏
出演：ララ・カンツォーネ

【学校関係者支援音楽会】

開催日：令和3年12月8日
場所：東京都立文京盲学校
演奏：弦楽四重奏
出演：東京都交響楽団

開催日：令和3年12月15日
場所：東京都立中野特別支援学校
演奏：弦楽四重奏
出演：東京都交響楽団

(4) メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集し、その中から優秀作品等を選び展示する「メトロ文化展」を、次のとおり開催しました。

ア 児童絵画の部

地下鉄に関する知識や興味を持っていただけるように、小学生を対象に安全やマナー等に関する絵画作品を募集した結果、5,802点の応募がありました。

応募作品の中から優秀作品300点及び奨励賞作品300点を選び、次のとおり発表しました。

- ・第39回メトロ児童絵画展（募集期間：令和3年7月16日から9月3日まで）

一次展示：令和3年10月6日から11日まで

優秀作品300点を三越前駅コンコースに展示

二次展示：令和3年10月13日から17日まで

奨励賞作品300点を三越前駅コンコースに展示

審査員：小野孝一氏（現代童画会常任委員）

川内 悟氏（公益社団法人二科会参与）

イ 写真の部

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などを撮影する喜びを体験していただくため、専門家による「メトロ写真教室」を例年は春と秋に1回ずつ開催しますが、3年度については次のとおり秋に1回開催しました。

また後日、当日撮影された写真を当財団ホームページにおいて発表しました。

- ・第49回メトロ写真教室（講義及び撮影）

開催日：令和3年10月30日

場所：神田周辺「湯島聖堂・神田明神・昌平橋付近」

参加者：16人（応募者47人（定員20人））

講師：中谷吉隆氏（公益社団法人日本写真家協会名誉会員）

作品発表：14点の作品を当財団ホームページに掲載

（令和4年1月7日から20日まで）

なお、春については感染拡大防止の観点から前年度同様、代替施策として一定のテーマを設定のうえ作品を募集し、応募作品の中から優秀な作品を選び発表する「メトロ写真コンテスト」を、次のとおり実施しました。

- ・第3回メトロ写真コンテスト（募集期間：令和3年4月1日から5月9日まで）

テーマ：「春・夏を謳う」

応募数：123点

審査員：同上

作品発表：金賞作品1点、銀賞作品2点、銅賞作品3点、審査員特別賞作品5点、入選作品20点を当財団ホームページに掲載

（令和3年7月1日から14日まで）

ウ 文学の部

「メトロ文学館」と題し、電車内で文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、“東京で感じるあなたの心”をテーマにした“詩”の募集を春と秋の2回行い、応募作品の中から優秀作品6編を選び、電車内で発表しました。

また同6作品に加え別途選んだ入選作品20編を、当財団ホームページにおいて発表しました。

・第33回メトロ文学館（募集期間：令和3年4月1日から5月31日まで）

応募数：317編（193人）

審査員：白石公子氏（詩人、エッセイスト）

作品発表：○優秀作品6編を電車内の中吊りポスターに掲出

（令和3年7月15日から12月31日まで）

○優秀作品6編及び入選作品20編を当財団ホームページに掲載

（令和3年7月30日から8月13日まで）

・第34回メトロ文学館（募集期間：令和3年10月1日から11月30日まで）

応募数：239編（146人）

審査員：同上

作品発表：○優秀作品6編を電車内の中吊りポスターに掲出

（令和4年1月15日から6月30日まで）

○優秀作品6編及び入選作品20編を当財団ホームページに掲載

（令和4年2月7日から27日まで）

（5）沿線地域文化の紹介

地下鉄沿線の地域文化の振興や伝承支援に寄与するため、沿線地域における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等を、当財団のホームページ及び「Echika 池袋ギャラリー」において、次のとおり紹介しました。

ア 台東区

「いきいき TOKYO 夢 TAITO-KU」「いきいき TOKYO 夢職人」として紹介

・財団ホームページへの掲載（令和3年10月1日から）

・「Echika 池袋ギャラリー」での展示（令和3年10月1日から29日まで）

イ 荒川区

「いきいき TOKYO 夢 ARAKAWA-KU」「いきいき TOKYO 夢職人」として紹介

- ・財団ホームページへの掲載（令和4年2月1日から）
- ・「Echika 池袋ギャラリー」での展示（令和4年2月1日から3月30日まで）

また、江戸の文化を今に伝える伝統工芸職人による実演会を「伝統工芸職人の技を見よう！」と題し、次のとおり開催しました。

- ・場 所：地下鉄博物館（企画展示コーナー）
- ・開 催 日：令和3年10月2日
- ・職 人：看板彫刻 坂井智雄氏（台東区）

（6）メトロ歴史教室の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、専門家による「メトロ歴史教室」を、次のとおり2回開催しました。

ア 第40回メトロ歴史教室（講義及び探訪）

- 開 催 日：令和3年11月6日
- 表 題：「神田界限を歩く」（万世橋、湯島聖堂、神田明神等）
- 参 加 者：12人（応募者71人（定員20人））
- 講 師：山田 徹氏（大学講師：地理学・地誌学専門）

イ 第41回メトロ歴史教室（講義及び探訪）

- 開 催 日：令和3年11月14日
- 表 題：同 上
- 参 加 者：17人（応募者52人（定員20人））
- 講 師：同 上

（7）Echika 池袋ギャラリーの管理運営

駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に寄与するために設置された「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行いました。

展示については地元豊島区と分担して行い、当財団については、次のとおり展示しました。

展 示 期 間	展 示 内 容
R3.7.31～8.30	江戸東京博物館企画 【テーマ：東京の凱旋門】 ○展示趣旨 東京の街に突如出現し、はかなくも消えていった凱旋門の姿を紹介する。 ○展示作品 絵画、木版多色刷りおもちゃ絵、絵葉書、グラフ雑誌、写真
R3.10.1～29	台東区における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等
R3.12.29 ～R4.1.30	江戸東京博物館企画 【テーマ：東京駅】 ○展示趣旨 首都東京の玄関口であり、シンボルでもある東京駅の歴史を紹介する。 ○展示作品 写真、絵葉書
R4.2.1～3.30	荒川区における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等

(8) パブリックアートの設置・管理

芸術文化の振興に寄与し、人々の心に潤いを与えるため、駅構内に設置したパブリックアート（現在合計で6駅7作品）の維持・管理を行いました。

また、前年の10月に銀座駅コンコースに復旧・設置した「メトロ銀座ギャラリー」において、次のとおり展示・管理を行いました。

展 示 期 間	展 示 者	展 示 内 容
R3.2.27～4.29	女子美術大学	展示会名：「JOSHIBI at METRO」 ○展示内容 6名の卒業生・在学生の作品を3か所のエリアに3名ずつ2期に分けて展示
R3.5.1～8.9	東京藝術大学	展示会名：「GEIDAI UNDERGROUND」 ○展示内容 令和2年度「東京藝術大学 卒業・修了作品

		展」の中から選ばれた10名の優秀作品を3か所のエリアに3期に分けて展示
R3.8.12～11.19	武蔵野美術大学	展示会名：「移動する視点、通路の彫刻」 ○展示内容 3名の作品を3か所のエリアに展示
R3.11.22 ～R4.2.26	(社)日本美術家連 盟関係作家	展示会名：「METRO ART PASSAGE」 ○展示内容 9名の作家の作品を3か所のエリアに3名ずつ3期に分けて展示
R4.3.8～4.22	文化学園大学	展示会名：「BUNKA×METRO」 ○展示内容 9名の卒業生の作品を3か所のエリアに2期に分けて展示

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図り、あわせて地下鉄に対する親しみを深めていただくため、次の事業を実施しました。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月東京メトロの全駅及び全電車内に掲出しました。

3年度のポスターは、「つなごう、マナーの『わ』」をスローガンとし、これを目にしたお客様に思いやりや心くばりを感じていただき、お互いの気持ちを大切に「和」を保ってあたたかいマナーの「輪」を広げてもらうことを願って作成しました。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配布

小学生を対象として、交通マナー、地下鉄の歴史、役割、安全への取り組み等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」を5万部制作し、地下鉄博物館及び東京メトロの主要駅において配布しました。

(3) 鉄道教室の開催

新型コロナウイルス感染拡大のため、中止しました。

II 庶務

1 理事会

(1) 令和3年度第1回（令和3年6月3日 決議の省略の方法による）

ア 「令和2年度事業報告及び計算書類の承認に関する件」について、理事の全員から書面による同意の意思表示を得たので、原案どおりの決議があったものとみなされました。

イ 「定時評議員会の決議の省略についての承認に関する件」について、理事の全員から書面による同意の意思表示を得たので、原案どおりの決議があったものとみなされました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」書面にて報告がされました。

(2) 令和3年度第2回（令和3年6月18日 決議の省略の方法による）

ア 「業務執行理事の選定に関する件」について、理事の全員から書面による同意の意思表示を得たので、原案どおりの決議があったものとみなされました。

イ 「常務理事の選定に関する件」について、理事の全員から書面による同意の意思表示を得たので、原案どおりの決議があったものとみなされました。

ウ 「業務執行理事の業務分担に関する件」について、理事の全員から書面による同意の意思表示を得たので、原案どおりの決議があったものとみなされました。

エ 「役員報酬に関する件」について、理事の全員から書面による同意の意思表示を得たので、原案どおりの決議があったものとみなされました。

(3) 令和3年度第3回（令和4年3月17日 決議の省略の方法による）

ア 「令和4年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認に関する件」について、理事の全員から書面による同意の意思表示を得たので、原案どおりの決議があったものとみなされました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」「役員退任について」、書面にて報告がされました。

2 評議員会

(1) 令和3年度定時評議員会（令和3年6月18日 決議の省略の方法による）

ア 「令和2年度事業報告及び計算書類の承認に関する件」について、評議員の全員から書面による同意の意思表示を得たので、原案どおりの決議があったものとみなされました。

イ 「評議員の選任に関する件」について、評議員の全員から書面による同意の意思表示を得たので、原案どおりの決議があったものとみなされました。

ウ 「理事の選任に関する件」について、評議員の全員から書面による同意の意思表示を得たので、原案どおりの決議があったものとみなされました。

3 官庁事項

内閣府への届出等事項は、次のとおりであります。

- (1) 令和3年6月29日 ・令和2年度事業報告等提出
- (2) 令和3年7月1日 ・理事等変更届出
- (3) 令和3年10月27日 ・令和2年度事業報告等修正
- (4) 令和4年3月9日 ・理事等変更届出
- (5) 令和4年3月21日 ・令和4年度事業計画等提出

4 登記

今期における登記事項は、次のとおりであります。

- (1) 令和3年6月21日
 - ア 重任登記
小林秀徳理事
 - イ 就任登記
小野孝一理事、野口実評議員
 - ウ 辞任登記
高橋宏之評議員
- (2) 令和4年3月1日
 - ア 辞任登記
小川晴基理事

5 役員

今期末における役員は、次のとおりであります。

会 長 (代表理事)	安 富 正 文
理 事 長	村 松 興 章
常務理事	小 林 秀 徳
常務理事	大 谷 泰 彦
理 事	内 田 喜 恵
理 事	小 野 孝 一
理 事	白 石 公 子
理 事	鈴 木 嗟 峨 子
理 事	中 谷 吉 隆
理 事	平 松 英 子
監 事	吉 田 茂
監 事	鈴 木 信 行

(理事 9人、監事 2人)

6 評議員

今期末における評議員は、次のとおりであります。

大井康弘、大野正道、實方 健、鈴木章生、辻 恵子、野口 実、花上嘉成、
平野直樹、山田 徹、若林 功

(10人)

7 従業員

今期末における従業員数は、26人であります。

令和4年6月

公益財団法人 メトロ文化財団